

富 山 地 方 労 働 審 議 会

第 1 回 富 山 県 フ ァ ス ナ ー 加 工 業 最 低 工 賃 専 門 部 会 議 事 要 旨

開 催 日 時	令和 6 年 2 月 16 日 (金) 午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分		
出 席 状 況	公 益 を 代 表 す る 委 員	出 席 3 人	定 数 3 人
	労 働 者 を 代 表 す る 委 員	出 席 2 人	定 数 3 人
	使 用 者 を 代 表 す る 委 員	出 席 3 人	定 数 3 人
主 要 議 題	1. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会部会長及び同代理の選出について 2. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会運営規程について 3. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会の審議運営事項について 4. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会の審議日程について 5. 富山県ファスナー加工業最低工賃改正決定関係資料について 6. 金額等審議について		
議事要旨・議事録	1. 部会長に大石委員、同代理に柳原委員を選出した。 2. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会運営規程について原案のとおり決定した。 3. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会の審議運営事項について原案のとおり決定した。 4. 富山県ファスナー加工業最低工賃専門部会の審議日程について原案のとおり決定した。 5. 事務局から資料に基づき、家内労働に関する実態調査結果及び関係労働者の賃金実勢の推移等の説明がなされた。 6. 金額等審議について 家内労働者側は、昨今の物価上昇や最低賃金においても上昇しているが、最低工賃は平成 30 年の改正以降引き上げられておらず、工賃の単価として見合う金額であるべきと主張した。 一方、委託者側は、北陸及び富山県の経済情勢は持ち直しの傾向であったが、能登半島地震の影響も考慮することと、ファスナー加工の委託自体が減少傾向にあり、また検査業務において画像化・自動化により人による検査が今後減少していくことも見込まれるので慎重な審議が必要であると主張した。		